

## 4 学習状況調査（児童・生徒質問紙）の分析結果

### (1) 基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」、就寝・起床時刻については、昨年同様、全体的には小中学生ともに好ましい状況にあると思われる。平成25年度と数値を比較すると、小学校の朝食、就寝時刻と中学校の起床時刻については良好な結果となっている。

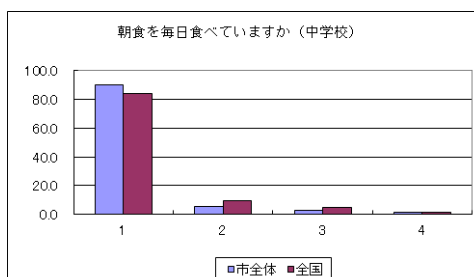
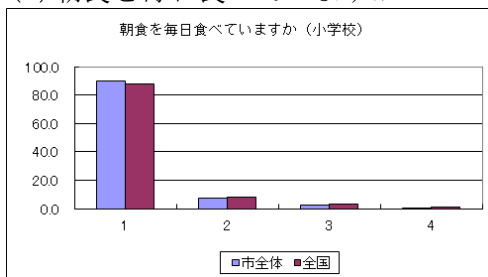
本市の小中学生は、基本的な食習慣や規則正しい睡眠などの基本的な生活習慣が全国よりも定着していることが、今年度も確認することができた。起床時刻に比べると就寝時刻が安定していないことが課題として挙げられるが、小学生の就寝時刻については、昨年度を1.2%上回っている。中学生の朝食と就寝時刻については、全国平均を上回っているが、昨年度を下回っている。

今後も安定した生活リズムの大切さを児童生徒に指導し、家庭にも啓発を行い、より規則正しい生活習慣を継続させていくことが望まれる。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	97.5	96.0	95.3	93.5
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.4	79.2	80.6	74.1
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.0	88.9	95.4	92.1

※数値は、「している」「どちらかといえば、している」の合計

#### (1) 朝食を毎日食べていますか

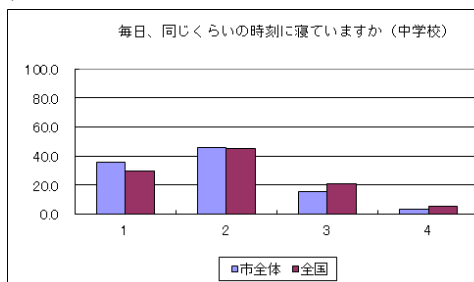
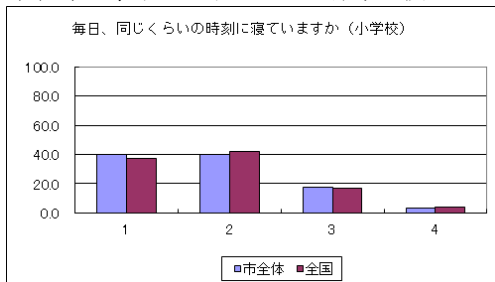


＜選択肢項目＞

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない



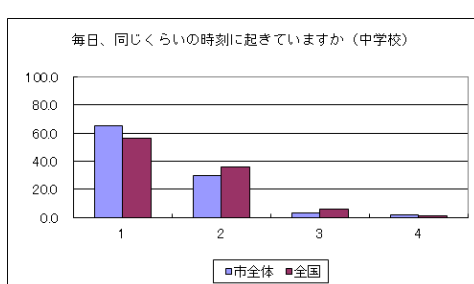
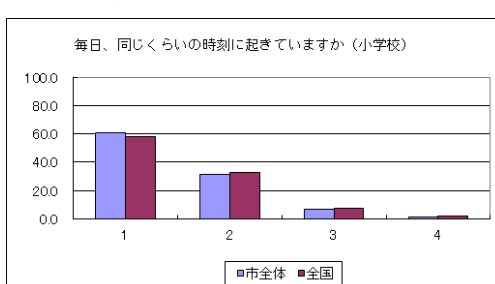
#### (2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



＜選択肢項目＞

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

#### (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



＜選択肢項目＞

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない



## (2) 学習時間等

### 〈家庭学習の時間について〉

「平日勉強をしている時間」「学校が休みの日に勉強をしている時間」は、小学生では、1時間以上が平日約65%、休日約29%、中学生では、平日約76%、休日約48%という状況であった。今年度の数値は、昨年度同様、全国平均を上回っているが、昨年度よりも下回っている。小学生の休日の勉強時間については、30%を下回っているので啓発が必要と考えられる。また、小学生の「宿題をしている」では、96.3%と高い値であるが、全国平均を下回っているので、「あまりしていない」児童の指導を今後も粘り強く継続していく必要があると考えられる。

### 〈授業の予復習等について〉

「授業の復習をしていますか」「授業の予習をしていますか」は、「している」「どちらかといえば、している」の合計は、小中ともに全国平均を上回っていた。特に、小中学校とも復習の時間が、小学校で12%、中学校で8%全国平均を上回っていた。

今年度も、本市の小中学生の学習時間は確保されており、家庭での学習の習慣化が図られていることがわかる。

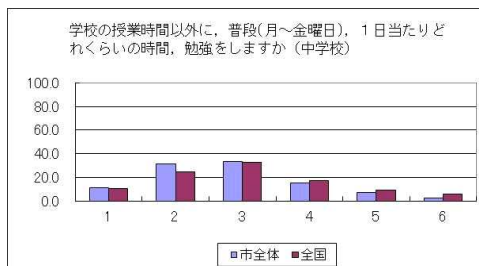
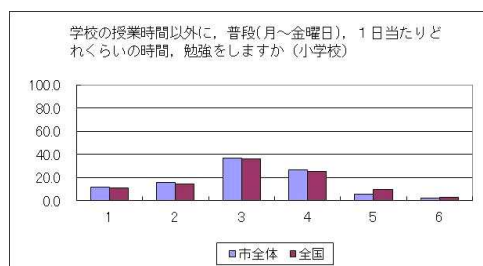
今後も、「家庭での勉強時間」「授業の復習」について、「30分より少ない（平日）」「あまりしていない」と答えた小中学生の割合を少なくしていくことが、課題であると考えられる。

### ① 〈家庭学習の時間について〉

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(14)	学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾や家庭教師含む）※1時間以上の合計	64.9	62.0	75.5	67.9
(15)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾や家庭教師含む）※2時間以上の合計	28.5	24.0	47.9	40.3
(16)	学習塾（家庭教師含む）で勉強をしていますか ※学習塾に通っている	50.0	47.9	64.7	60.5

### (14)

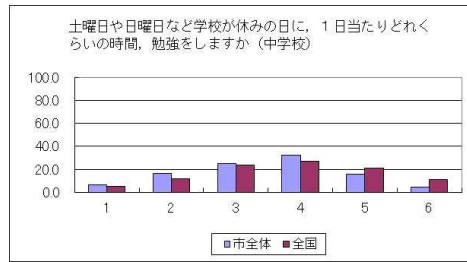
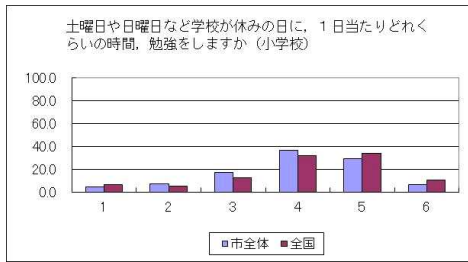
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



#### 〈選択肢項目〉

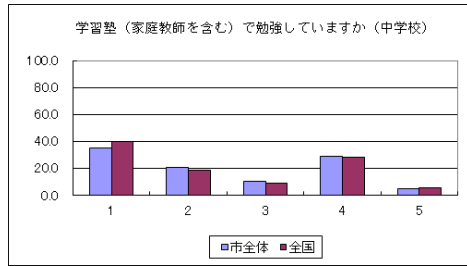
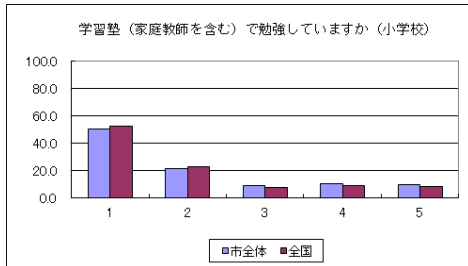
- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしていない

(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 4時間以上
  - 2 3時間以上、4時間より少ない
  - 3 2時間以上、3時間より少ない
  - 4 1時間以上、2時間より少ない
  - 5 1時間より少ない
  - 6 全くしていない

(16) 学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか



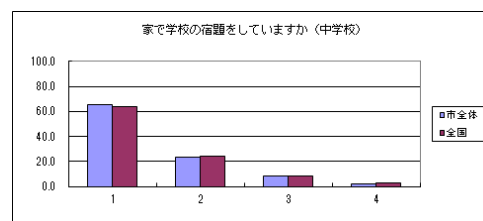
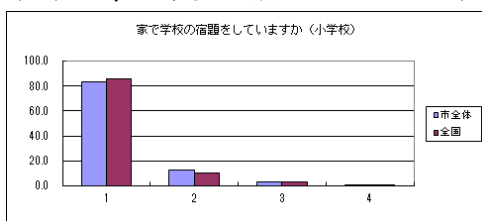
- 〈選択肢項目〉
- 1 学習塾に通っていない
  - 2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
  - 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している
  - 4 2, 3の両方の内容を勉強している
  - 5 2, 3の内容のどちらともいえない

② 〈授業の予復習等について〉

質問番号	質問事項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(22)	家で学校の宿題をしていますか	96.3	96.5	89.0	88.2
(23)	家で学校の授業の予習をしていますか	45.9	43.2	39.7	34.2
(24)	家で学校の授業の復習をしていますか	62.0	54.0	62.6	50.4

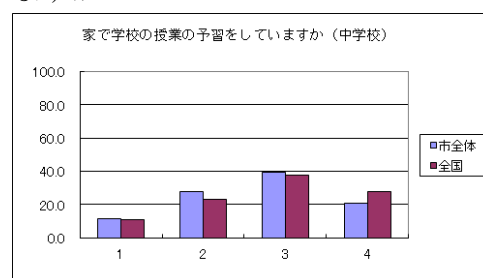
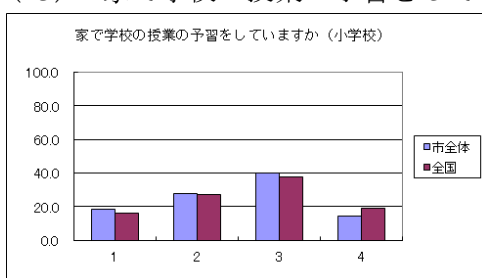
※数値は、「している」「どちらかといえば、している」の合計

(22) 家で学校の宿題をしていますか



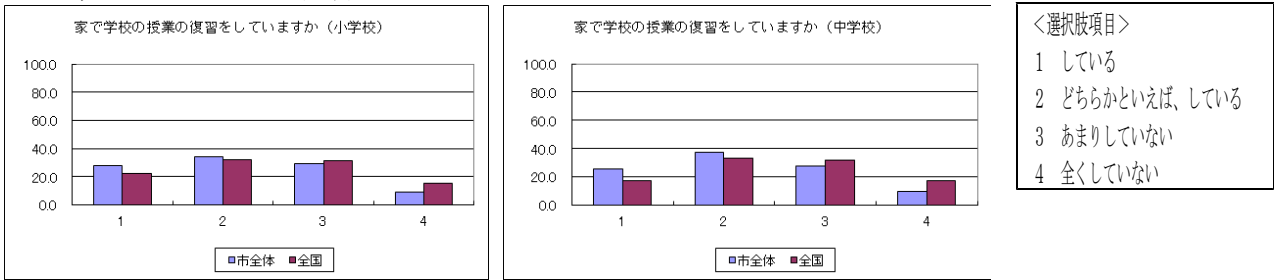
- 〈選択肢項目〉
- 1 している
  - 2 どちらかといえば、している
  - 3 あまりしていない
  - 4 全くしていない

(23) 家で学校の授業の予習をしていますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 している
  - 2 どちらかといえば、している
  - 3 あまりしていない
  - 4 全くしていない

(24) 家で学校の授業の復習をしていますか



(3) 国語・読書、算数・数学について

「国語の勉強は好きですか」は、小学生は全国平均をやや下回り、中学生は全国平均を大きく上回る結果であった。小・中学校ともに平成25年度とほぼ同じ数値であり、過去4回の調査で同じ傾向が見られた。

「読書は好きですか」は、小中学生ともにほぼ全国平均と同じ傾向であり、平成25年度よりも数値が上がっている。

「算数(数学)の勉強は好きですか」は、小学生は全国平均を大きく上回り、中学生は全国平均をやや上回る結果であった。これも、過去4回の調査と同じ傾向が見られた。

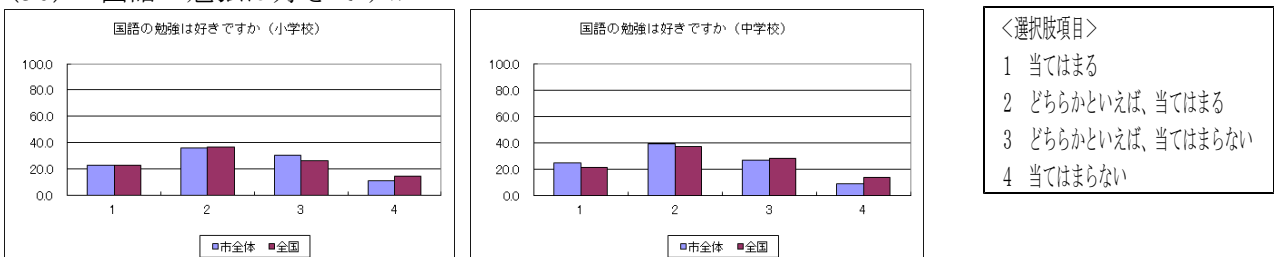
本市の小中学生は、国語、算数(数学)が好きな子ども達が多いことが分かった。全体的には今年度の本市の児童生徒は、小学生は国語より算数の方が好きで、中学生は数学より国語の方が好きであることが分かる。国語、算数・数学の理解は、ほぼ同じ程度と捉えていることが分かる。

読書が好きであることは、過去4回の調査と同じ結果が見られ、本市の子ども達の良さとして捉えられる。

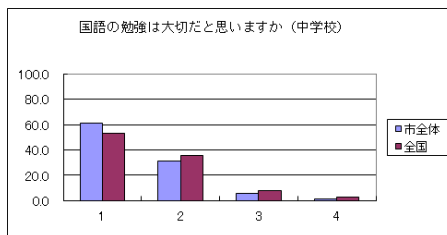
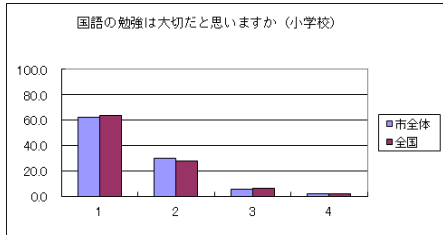
質問番号	質問事項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(50)	国語の勉強は好きですか	58.5	59.2	64.0	58.2
(51)	国語の勉強は大切だと思いますか	92.2	91.8	92.8	89.0
(52)	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	80.1	80.1	72.0
(53)	読書は好きですか	75.8	73.0	70.0	69.4
(62)	算数・数学の勉強は好きですか	71.9	66.1	59.7	56.6
(63)	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	93.7	92.3	86.7	82.1
(64)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.4	79.6	77.2	71.5

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

(50) 国語の勉強は好きですか

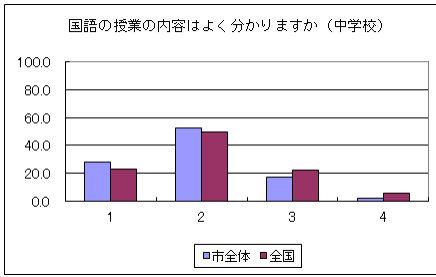
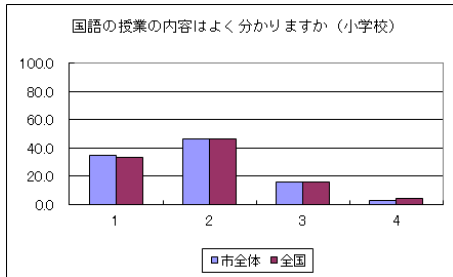


(51) 国語の勉強は大切だと思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

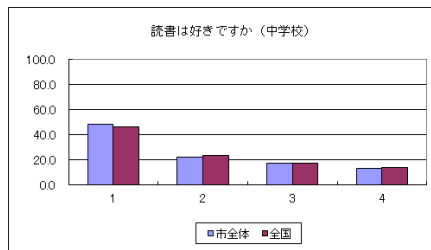
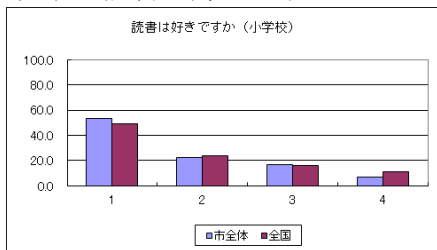
(52) 国語の授業の内容はよく分かりますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

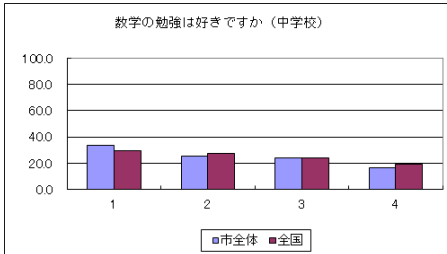
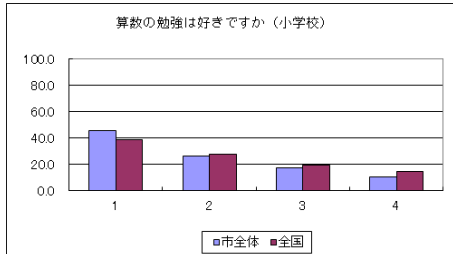


(53) 読書は好きですか

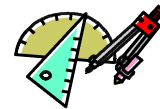


- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

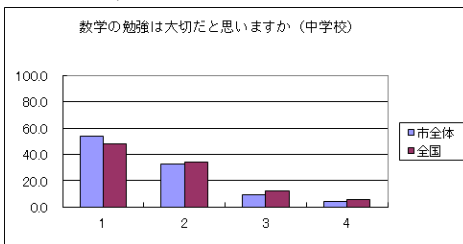
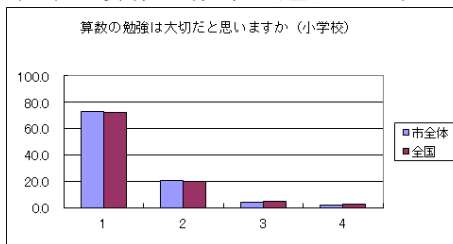
(62) 算数(数学)の勉強は好きですか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

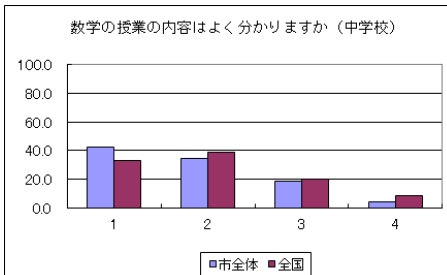
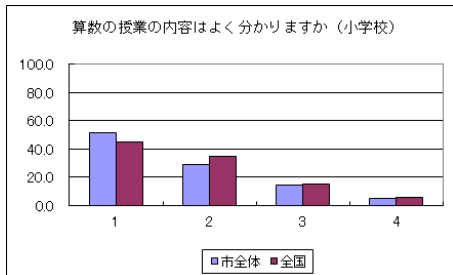


(63) 算数・数学の勉強は大切だと思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

(64) 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

#### (4) 学校生活

「学校に行くのは楽しいと思いますか」で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた小学生は、全国平均と同程度であり、中学生は全国平均を上回っていた。小中学生とも87%が、楽しいと感じていることが分かる。

「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったこと」で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた小学生は、83%で全国平均を下回った。中学生は、93%で全国平均を上回った。中学校では、学校行事等が充実した活動になっていると考えられる。

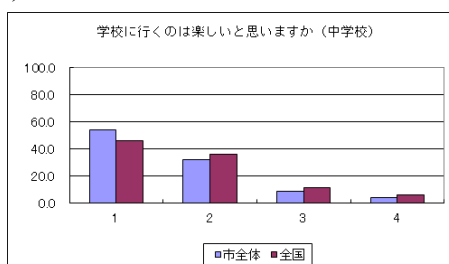
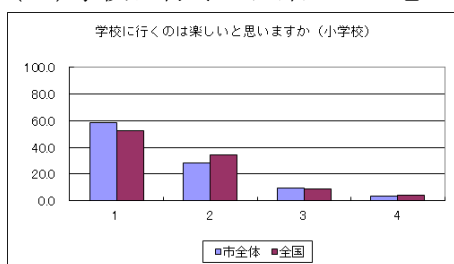
本市の小中学生の学校生活を問う項目は、全国と同程度、またはそれを上回る好ましい状況で、これは過去4年間同じ傾向が見られた。

下野市のほとんどの児童生徒は、友達との関わりがあり、学校生活が楽しいと感じていることが分かった。今後も望ましい人間関係の育成と、学ぶ意欲を喚起する授業の工夫に努めていくことが望まれる。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(25)	学校に行くのは楽しいと思いますか	86.6	86.6	86.6	82.4
(27)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	83.3	86.5	92.5	84.5

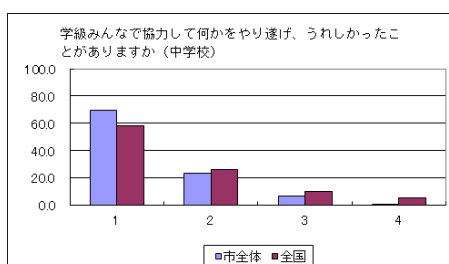
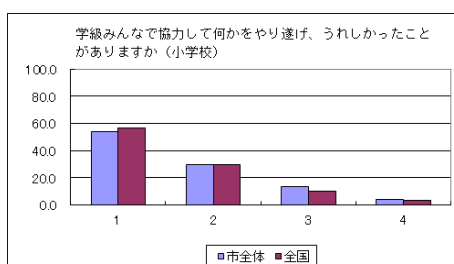
※数値は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

#### (25) 学校に行くのは楽しいと思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 そう思う
  - 2 どちらかといえば、そう思う
  - 3 どちらかといえば、そう思わない
  - 4 そう思わない

#### (27) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

## (5) 家庭でのコミュニケーション

「学校での出来事について話をしますか」は、小学生が全国平均を下回り、中学生が全国平均を上回る結果であった。「授業参観や運動会などの学校行事に来ますか」では、小・中学生共に全国平均を上回った。これは、保護者や地域の方の学校教育への関心の高さを示していると考えられる。

本市における「家庭でのコミュニケーション」は、今年度も全国と比べて、全体的にはますます好ましい状況にあると思われる。

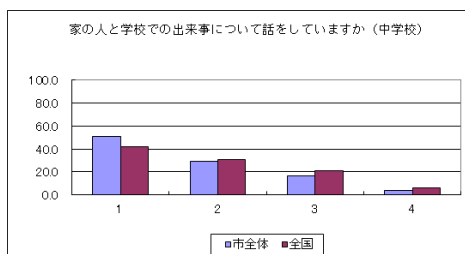
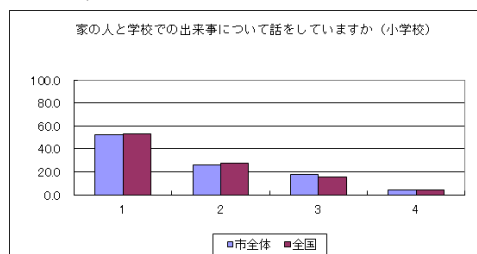
「家の人と学校での出来事について話をしていますか」は、小・中学生共に平成25年度より数値が上がり、よい傾向になっている。しかし、小学生は全国平均を下回っているため、継続して指導が必要であると考えられる。

今後もファミリー下野市民運動の「家庭では子どもに話しかけよう！」をさらに推進していく必要性を感じる。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(19)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	78.5	80.4	79.7	72.6
(20)	家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか	97.5	96.5	94.7	83.1

※数値は、「している」「どちらかといえば、している」「よく来る」「時々来る」の合計

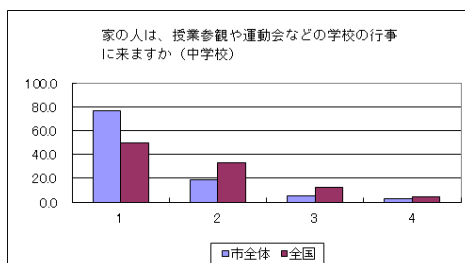
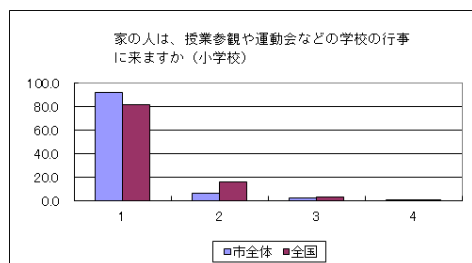
### (19) 家の人と学校での出来事について話をしていますか



＜選択肢項目＞

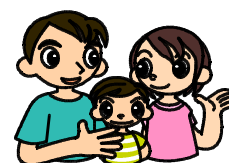
- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

### (20) 家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか



＜選択肢項目＞

- 1 よく来る
- 2 時々来る
- 3 あまり来ない
- 4 全く来ない



## (6) 自尊意識・将来に関する意識

自尊意識等については、「自分には、よいところがあると思いますか」は、小学生が全国平均を5.6%下回り、中学生が全国平均を3.1%上回っていた。「将来の夢や目標をもっていますか」は、小中学生共に全国平均を上回った。特別活動におけるキャリア教育等が充実していると考えられる。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」は、小学生が全国平均を少し下回り、中学生が全国平均を上回った。

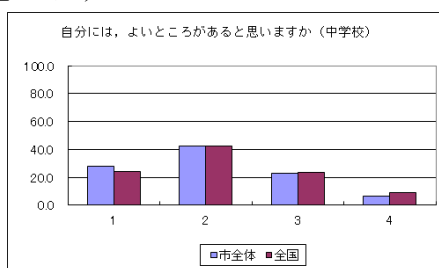
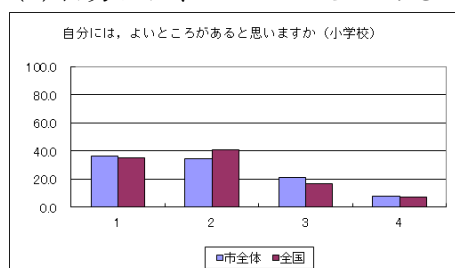
「自分には、よいところがあると思いますか」の質問について、小中学生共に70%程度であることは、注目すべきである。今以上に教職員が児童生徒のよいところを見付け、認めていくことが必要であると考えられる。

小学校の段階からより一人一人のよさを認める指導や、達成感や充実感のある教育活動に努めることが、今後も重要であると考えられる。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	70.6	76.2	70.2	67.1
(10)	将来の夢や目標をもっていますか	88.8	86.7	75.2	71.4
(28)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	79.6	79.7	80.9	74.1

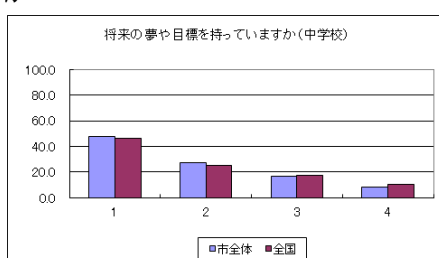
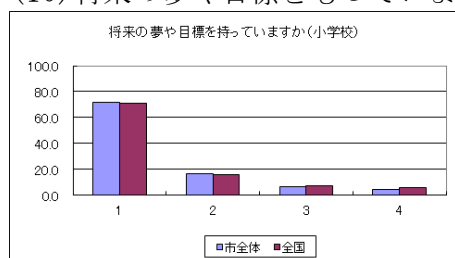
※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

### (6) 自分には、よいところがあると思いますか



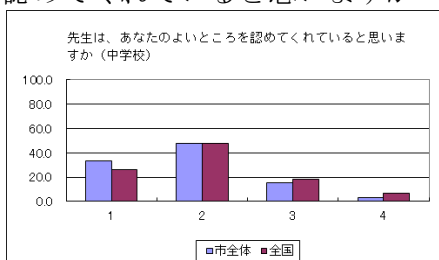
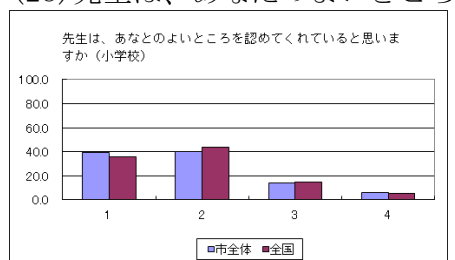
- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

### (10) 将来の夢や目標をもっていますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

### (28) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない



## (7) 規範意識等

規範意識については、「学校のきまり」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合が、昨年度に引き続き小学生において全国平均をわずかに下回っていた。中学生は、全国平均を上回っていた。「いじめ」「約束」の項目は、小中学校生共に全国平均を上回った。平成25年度の市の数値と比較すると、中学生の「いじめ」の質問以外は、数値が上昇していた。

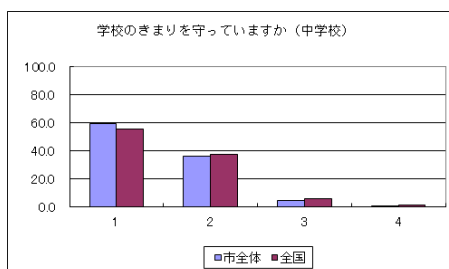
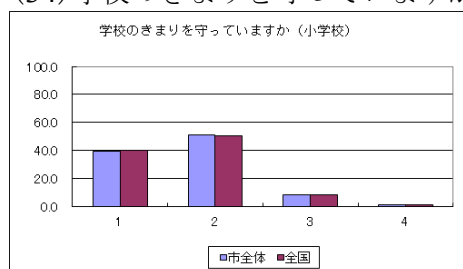
過去の5回の調査（平成19年度～平成25年度）を通して本市の小中学生は、規範意識が高い状況にあると言える。これは、落ち着いた学校生活を送っている大きな要因と考えられる。

今後も小学校の低学年の段階から、道徳教育を中心とした全教育活動において、きまりの意義や必要性についての主体的な理解や体験に基づいた指導を推進し、いじめについても100%の肯定的な回答を目指して学校全体で指導体制を充実させることが必要である。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(34)	学校のきまり(規則)を守っていますか	90.4	90.5	95.4	93.0
(35)	友達との約束を守っていますか	97.9	97.3	98.5	97.1
(37)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.1	96.4	95.5	93.4

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

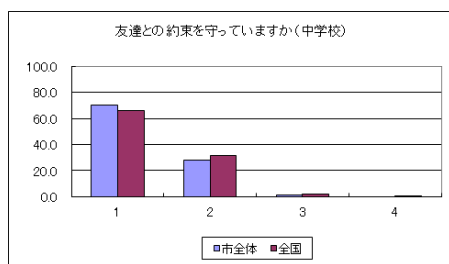
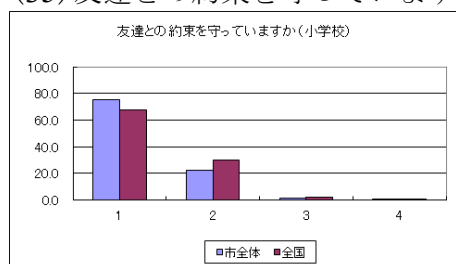
### (34) 学校のきまりを守っていますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

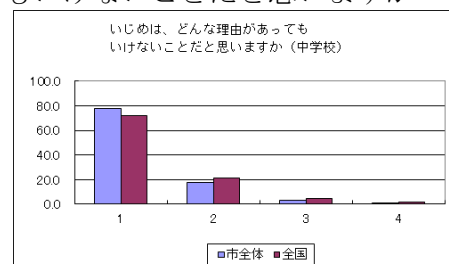
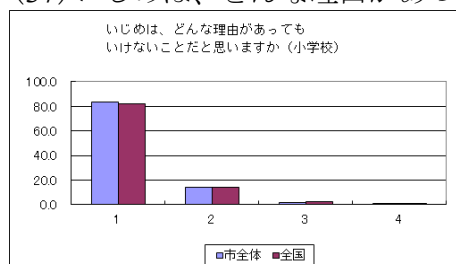
### (35) 友達との約束を守っていますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

### (37) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

## (8) 地域との関わり・社会に対する興味関心

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は、参加している小中学生は全国平均を上回っているが、参加していない小中学生も小学生で26%、中学生で54%いた。小学生は、平成25年度よりも「参加している」数値が上がった。

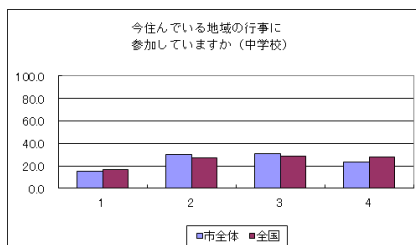
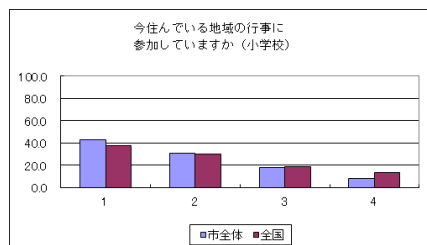
「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」は、小中学生共に全国平均を上回っていた。また、平成25年度よりも数値が上がった。「子ども未来プロジェクト」の活動等により徐々に地域や社会のために、主体的に考え行動しようとする意識が高まってきていると思われる。

本市は、数多くの史跡や田園に恵まれた、歴史や文化、自然の豊かな地域である。今年度は、市総合計画策定に中学生が関わり、優れたところが豊富な地域への関心が高まった。さらに子ども達が「自分たちの住んでいる下野市」に関心と誇りが持てるように、「ふるさと学習」を推進していくこと、土曜日等に行われる学校・家庭・地域社会が連携した行事や活動に、小・中学生が参加していくことが課題と言える。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.7	63.9	45.3	43.5
(30)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	64.8	62.9	61.5	55.6
(31)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	42.0	42.5	30.2	31.2

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

### (29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか

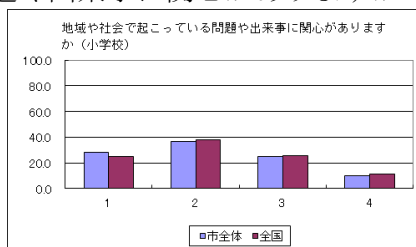
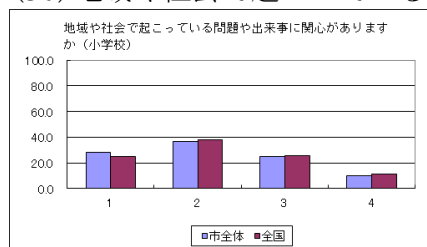


＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



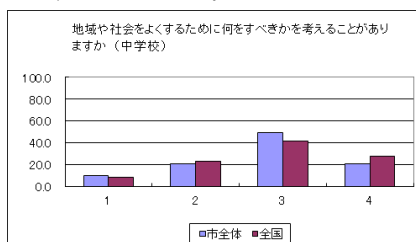
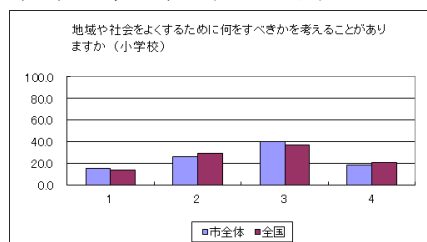
### (30) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

### (31) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

## (9) 学習状況

「授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか」は、小中学校とも全国平均を上回っていた。また、昨年度よりも小学校で21%、中学校で8%数値が上がった。

「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」は、小学生は全国平均を下回り、中学生は全国平均を上回っていた。

「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」は、小中学校とも全国平均を上回った。特に、中学生は、20%程度全国平均を上回った。

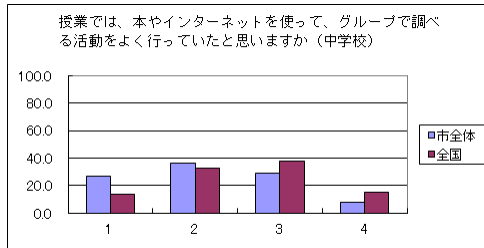
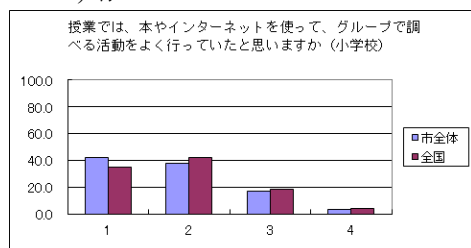
「授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」は、今年度初めての項目であるが、小中学校ともに全国平均を上回った。しかし、「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」は、小中学校ともに70%を下回っているため、さらに、子ども達の理解を深めるための振り返り活動の工夫が必要と考えられる。

本市は、図書資料やICT機器を活用した授業は、比較的行われていると見ることができる。自分の考えを発表したり、友達と意見を交換し合ったりする活動も、特に中学校では、昨年度に引き続き全国平均を上回っていることから、定着してきていると思われる。今後も小学校において、自分の考えを発表する学習をより一層の充実させていくことや、小・中学校とも授業のねらいにせまる言語活動や学習内容を振り返る活動の充実を図っていく必要がある。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(41)	授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか	80.0	77.3	62.6	46.5
(42)	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	76.4	83.7	86.3	81.1
(43)	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	87.4	84.9	94.5	75.3
(44)	授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	86.1	82.0	73.8	71.5
(45)	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	65.8	71.9	54.0	53.3

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

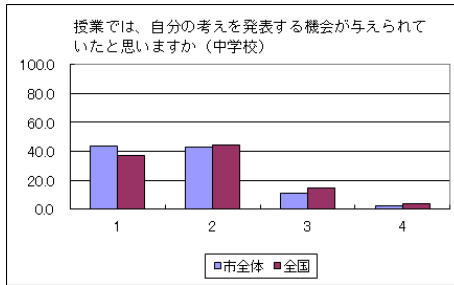
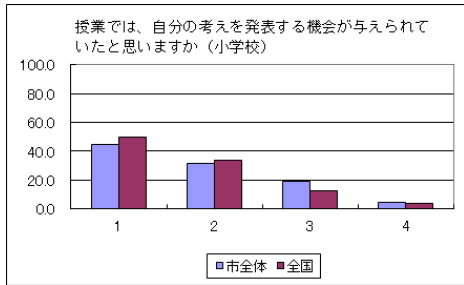
(41) 授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか



〈選択肢項目〉

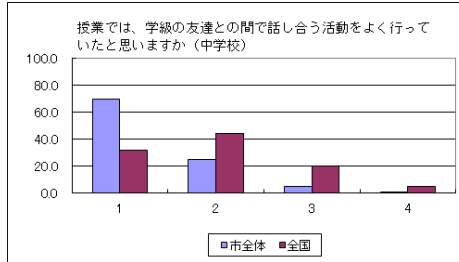
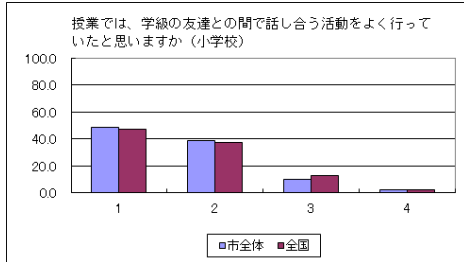
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42) 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



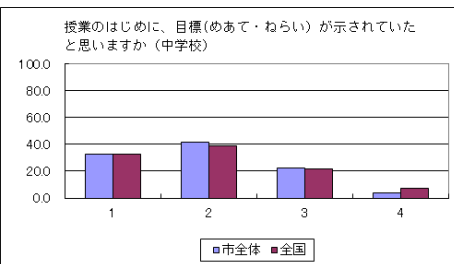
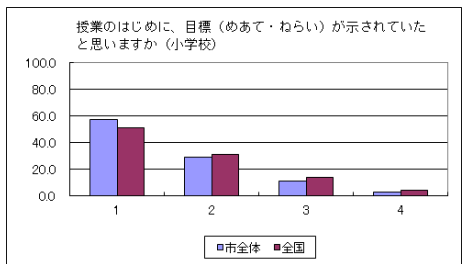
- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

(43) 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



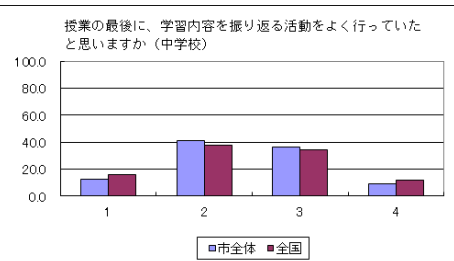
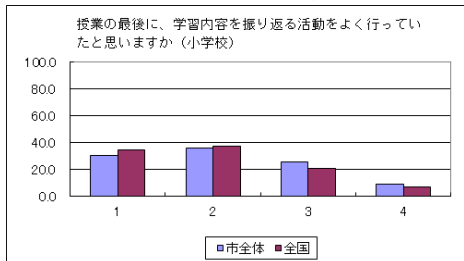
- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

(44) 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

(45) 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



- ＜選択肢項目＞
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

## (10) 達成感・挑戦

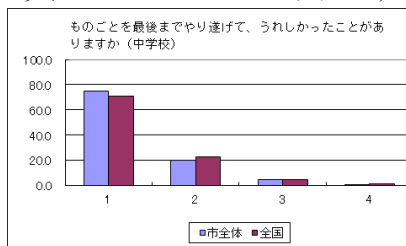
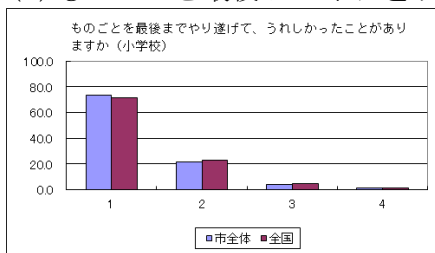
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」は、小中学生共に全国平均を上回っていた。「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」は、小学生は、全国平均と昨年度の数値を下回った。中学生は、全国平均と昨年度の数値を上回った。

今後も、学校の全教育活動の中で、適度な設定目標に挑戦する機会を与え、努力して達成する経験をつませることと子ども達が失敗を恐れずに挑戦できる教職員の支援の工夫が重要と考える。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.1	94.4	95.0	92.8
(5)	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	72.7	75.1	71.0	68.0

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計

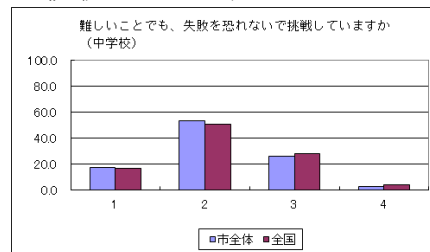
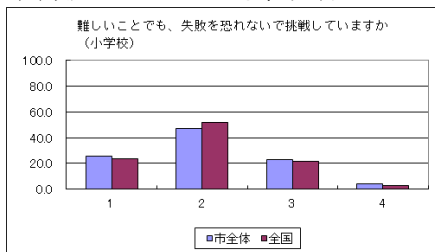
### (4) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

### (5) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



＜選択肢項目＞

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(11) その他

「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合が、小学生で約52%、中学生で約38%と全国平均よりも高かった。

「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」は、小中学生共に全国平均と昨年度の数値を上回った。

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」は、小中学生共に全国平均と昨年度の数値を下回った。特に、中学校では、5割を下回っているので、計画の立て方を含め、指導を継続していく必要がある。

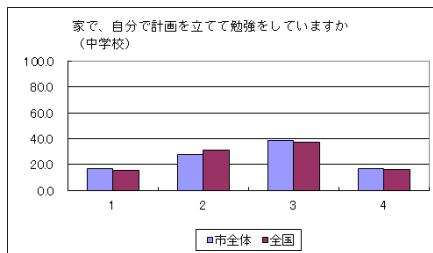
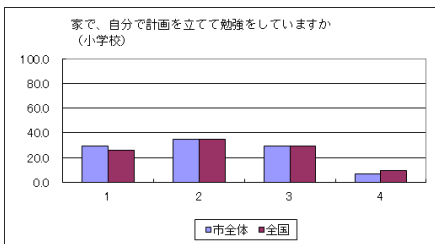
本市の小中学生の携帯電話やスマートフォンの保有率は、全国平均と比較して低い。しかし、昨年度より保有率は、小学生が8%、中学生が19%上がっている。今後ますます上がっていくことが予想される。情報モラル教育の系統的な指導を行い、家庭にフィルタリングの設定を啓発する等、より一層協力を呼びかけていく必要がある。

「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問は、小中学生とも95%以上が肯定的な回答をしている。今後も道德の時間を中心とした心の教育の充実や、豊かな体験活動を通じた実感をもたせる指導の充実に努めていきたい。

質問番号	質問事項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(13)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか ※「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」の合計	8.5	8.7	20.0	32.7
(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	63.9	71.0	45.0	46.7
(36)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	94.9	94.4	97.2	96.3
(38)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.8	94.0	96.0	94.0

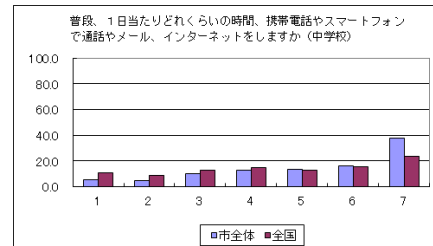
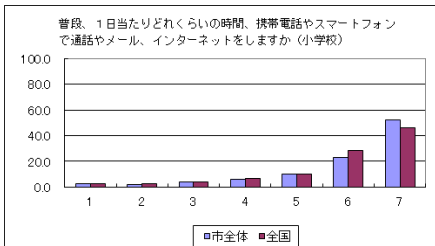
※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「している」「どちらかといえば、している」の合計

(21) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



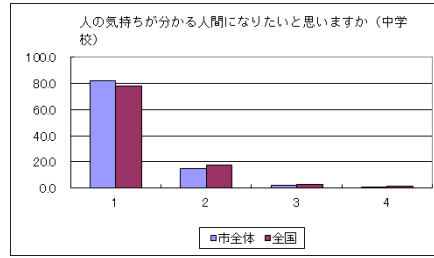
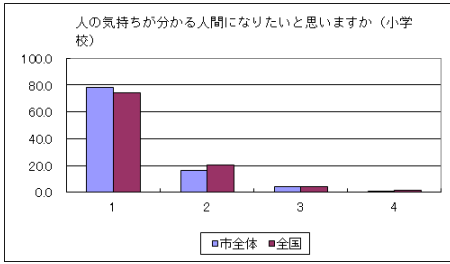
- <選択肢項目>
- 1 している
  - 2 どちらかといえば、している
  - 3 あまりしていない
  - 4 全くしていない

(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



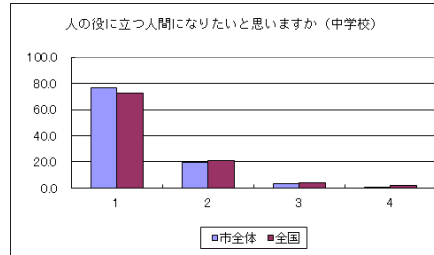
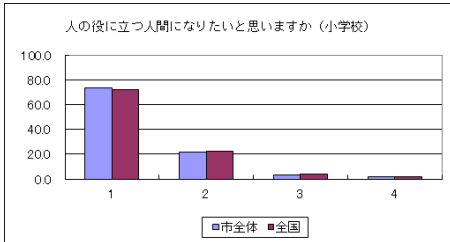
- <選択肢項目>
- 1 4時間以上
  - 2 3時間以上、4時間より少ない
  - 3 2時間以上、3時間より少ない
  - 4 1時間以上、2時間より少ない
  - 5 30分以上、1時間より少ない
  - 6 30分より少ない
  - 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない

(36) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない

(38) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



- 〈選択肢項目〉
- 1 当てはまる
  - 2 どちらかといえば、当てはまる
  - 3 どちらかといえば、当てはまらない
  - 4 当てはまらない